

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2023年3月期 第2四半期

レイズネクスト株式会社

目 次

1. 2023年3月期事業環境	・・・	3	3. 2023年3月期業績見通し	・・・	13
1) 事業環境	・・・	4	1) 業績見通し	・・・	14
2. 2023年3月期第2四半期決算	・・・	5	2) 受注高	・・・	15
1) 業績概要	・・・	6	3) 完成工事高	・・・	16
2) 受注高	・・・	7	4. 配当	・・・	17
3) 完成工事高	・・・	8	1) 2023年3月期配当予想	・・・	18
4) 完成工事総利益・営業利益	・・・	9			
5) 当期純利益	・・・	10			
6) 受注残高	・・・	11			
7) 貸借対照表	・・・	12			

1. 2023年3月期 事業環境

1) 事業環境

国内経済

- ウィズコロナへの移行が進められる中、各種政策の効果により、景気は緩やかに持ち直している。他方、海外景気の下振れが国内景気を下押しする恐れと、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等のリスクが懸念される状況

事業環境

- 受注高は、2022年3月期は複数の大型工事の受注により高水準となったが、2023年3月期は前期より減少する見込み
- 完成工事高は、2022年3月期は定期修理工事が少なかったが、2023年3月期は回復傾向の見込み



当社の対応

- メンテナンス分野では、日常保全や改修などのメンテナンス工事の拡大に努める
- エンジニアリング分野では、一般化学や電子材料などの高機能製品製造プラントやカーボンニュートラル関連工事の拡大に努める

2. 2023年3月期 第2四半期決算

1) 業績概要

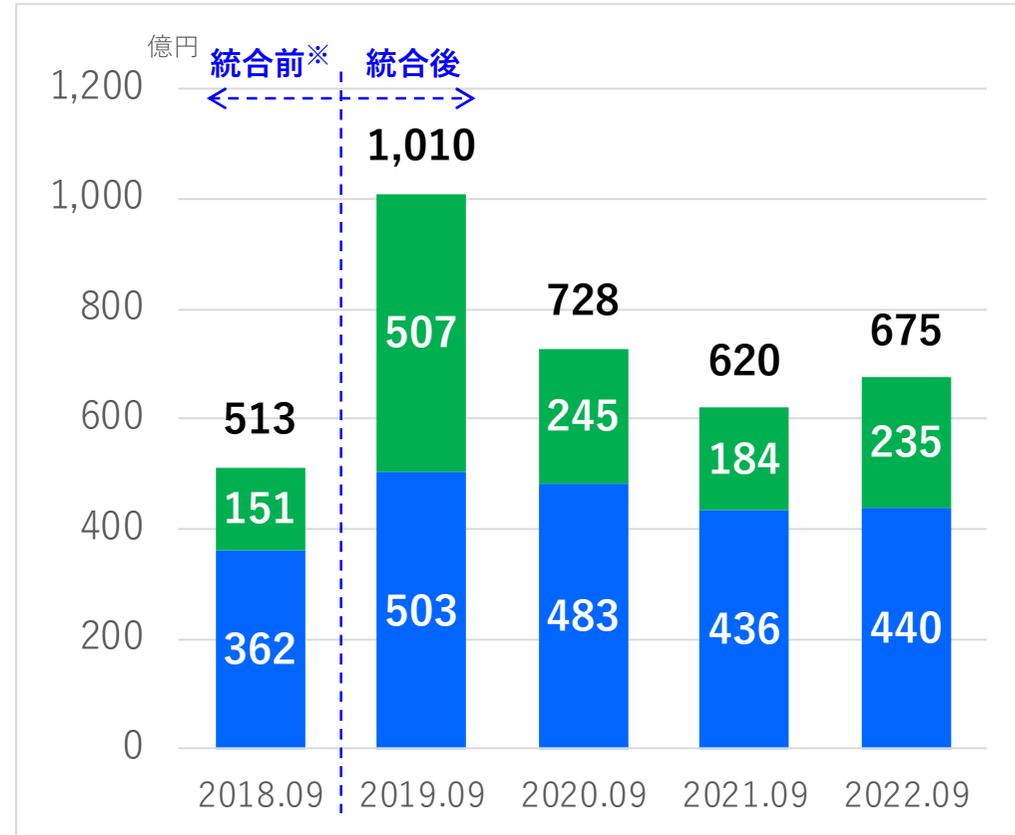
➤ 受注高および完成工事高はほぼ期初予想どおり、各利益は期初予想を若干上回る

	期初予想	2022.09	増減	増減率	(参考) (単位：億円)		
					前期 (2021.09) との差異		
					前期比	増減率	
受注高	670	675	+5	+0.7%	620	+55	+8.9%
完成工事高	700	687	-13	-1.9%	673	+14	+2.1%
完成工事総利益	88.0	90.5	+2.5	+2.8%	89.3	+1.2	+1.3%
(率)	12.6%	13.2%	+0.6%	—	13.3%	-0.1%	—
営業利益	53.0	54.9	+1.9	+3.6%	56.2	-1.3	-2.3%
(率)	7.6%	8.0%	+0.4%	—	8.3%	-0.3%	—
経常利益	54.0	57.2	+3.2	+5.9%	57.6	-0.4	-0.7%
(率)	7.7%	8.3%	+0.6%	—	8.6%	-0.3%	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	35.5	39.6	+4.1	+11.5%	34.7	+4.9	+14.1%
(率)	5.1%	5.8%	+0.7%	—	5.2%	+0.6%	—

2) 受注高

- メンテナンスでは、定期修理工事の受注時期の期ずれなどにより期初予想を下回る
- エンジニアリングでは、新規設備工事で下期受注予定の工事を上期に受注したことなどにより期初予想を上回る

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



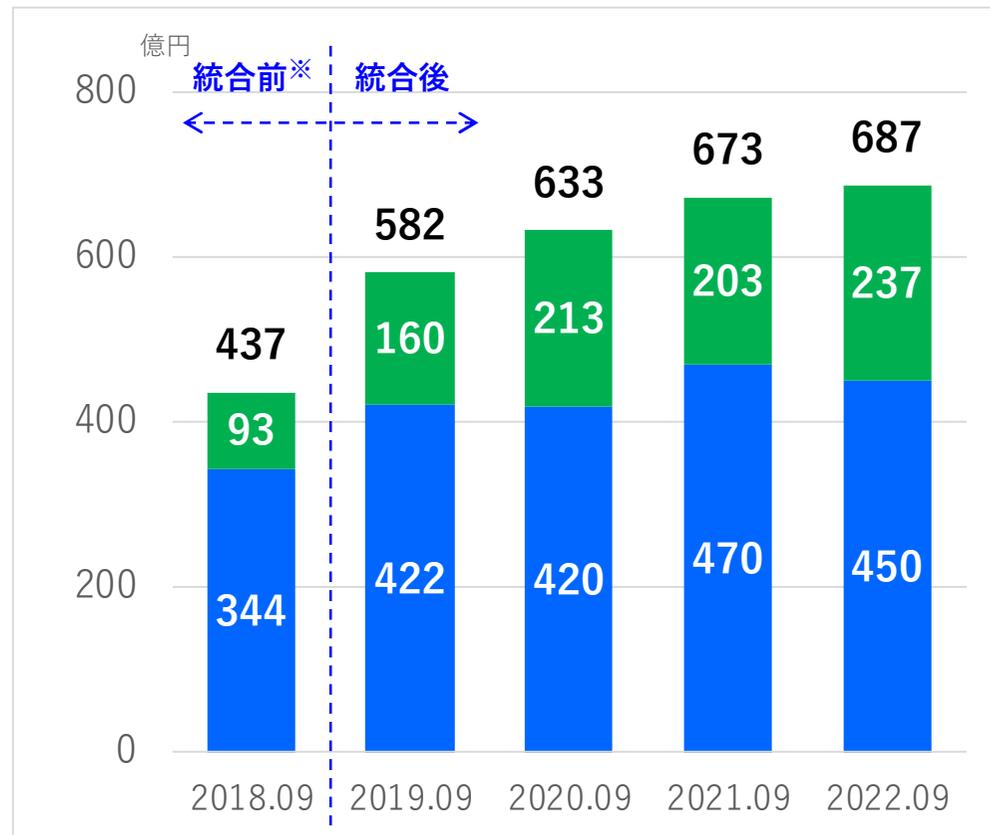
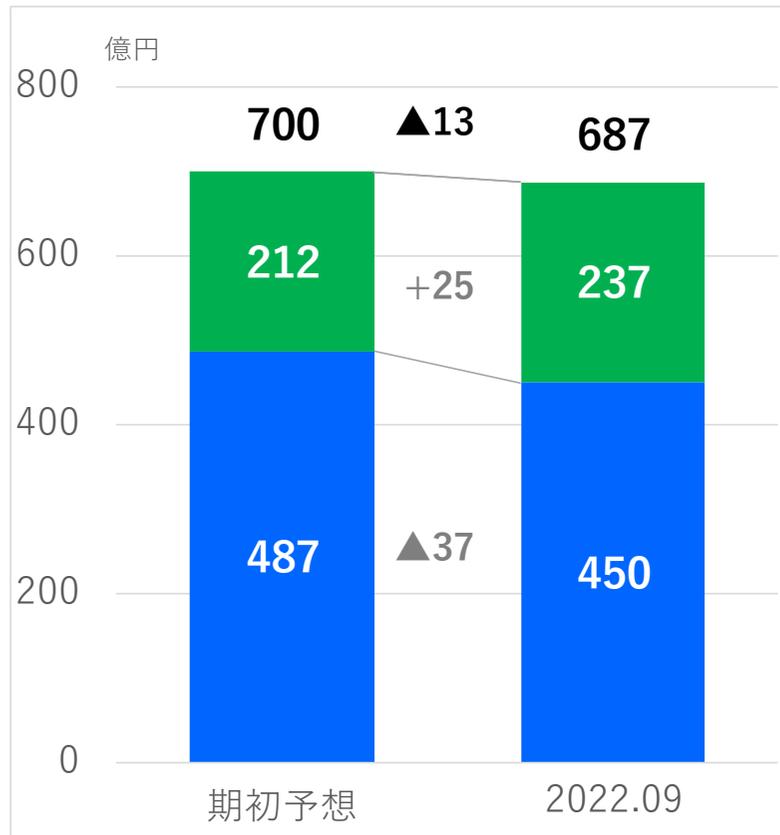
特記事項

- ① 2019年9月期の受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたものを含む。

3) 完成工事高

- メンテナンスでは、定期修理工事の下期への期ずれなどにより期初予想を下回る
- エンジニアリングでは、工事量増加などにより期初予想を上回る

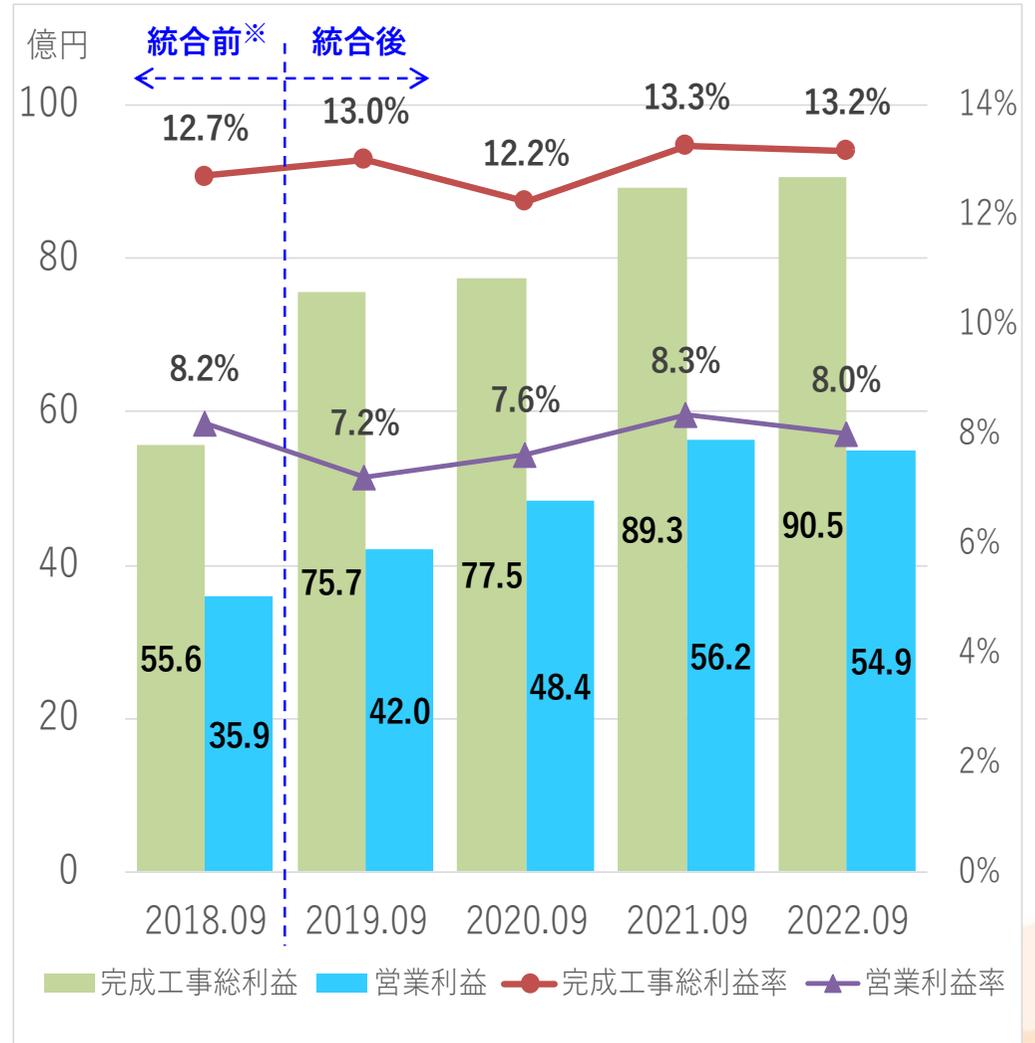
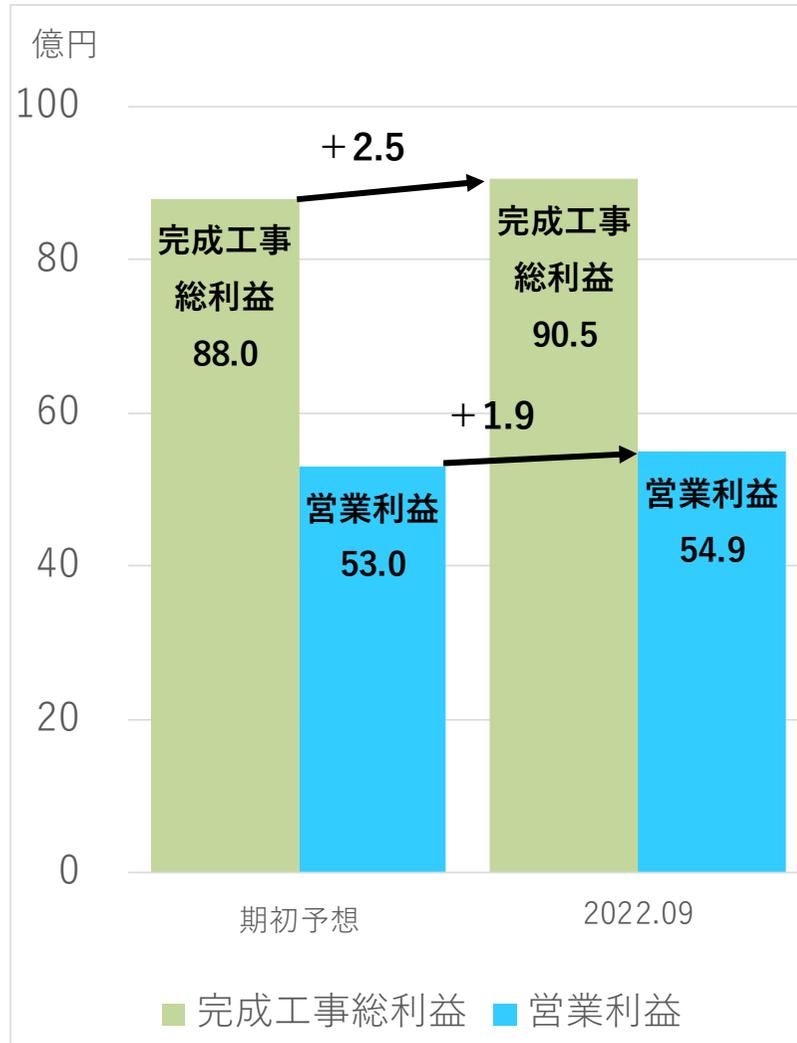
■ メンテナンス ■ エンジニアリング



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

4) 完成工事総利益・営業利益

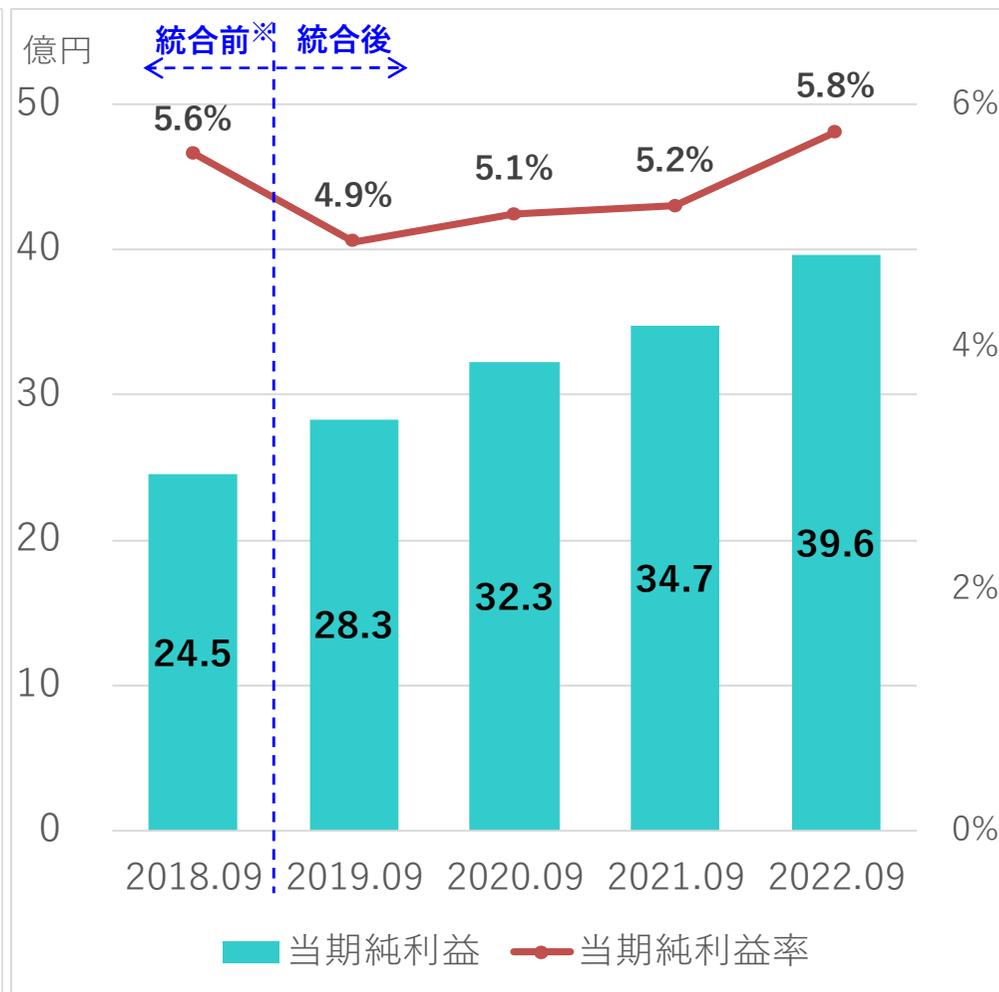
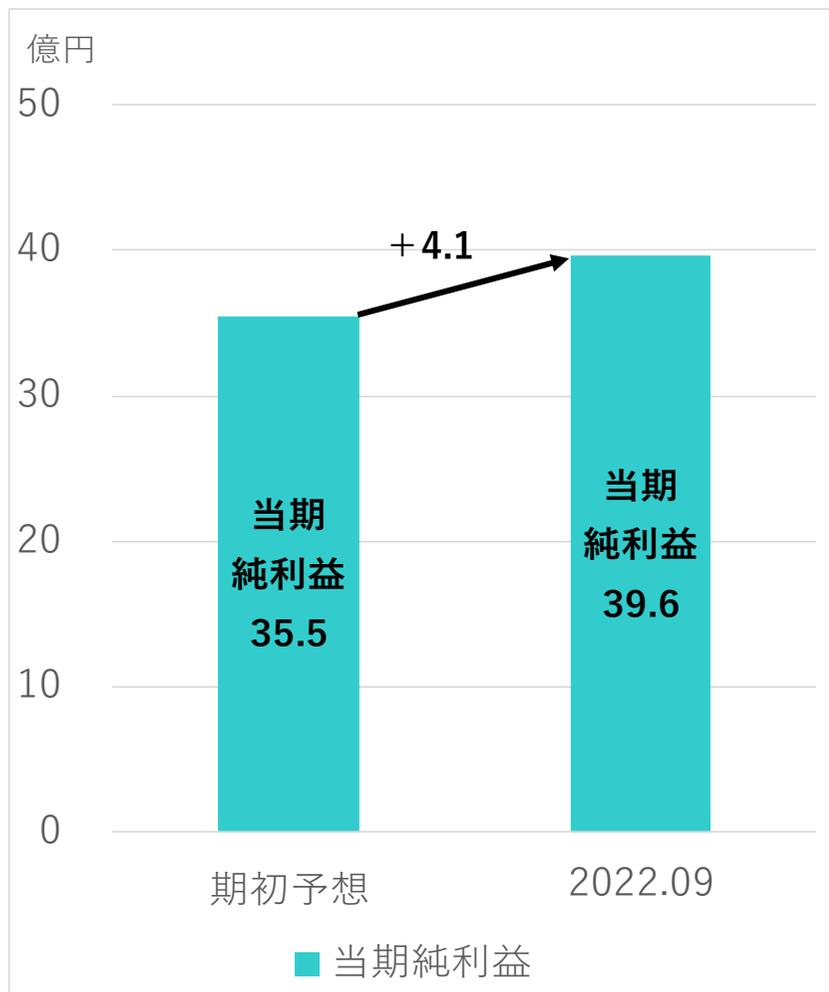
➤ 完成工事高が想定どおりとなり、原価低減や稼働の効率化に努めた結果、完成工事総利益・営業利益は期初予想を若干上回る



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

5) 当期純利益

➤ 完成工事総利益や特別利益などが増加したことにより、当期純利益は期初予想上回る

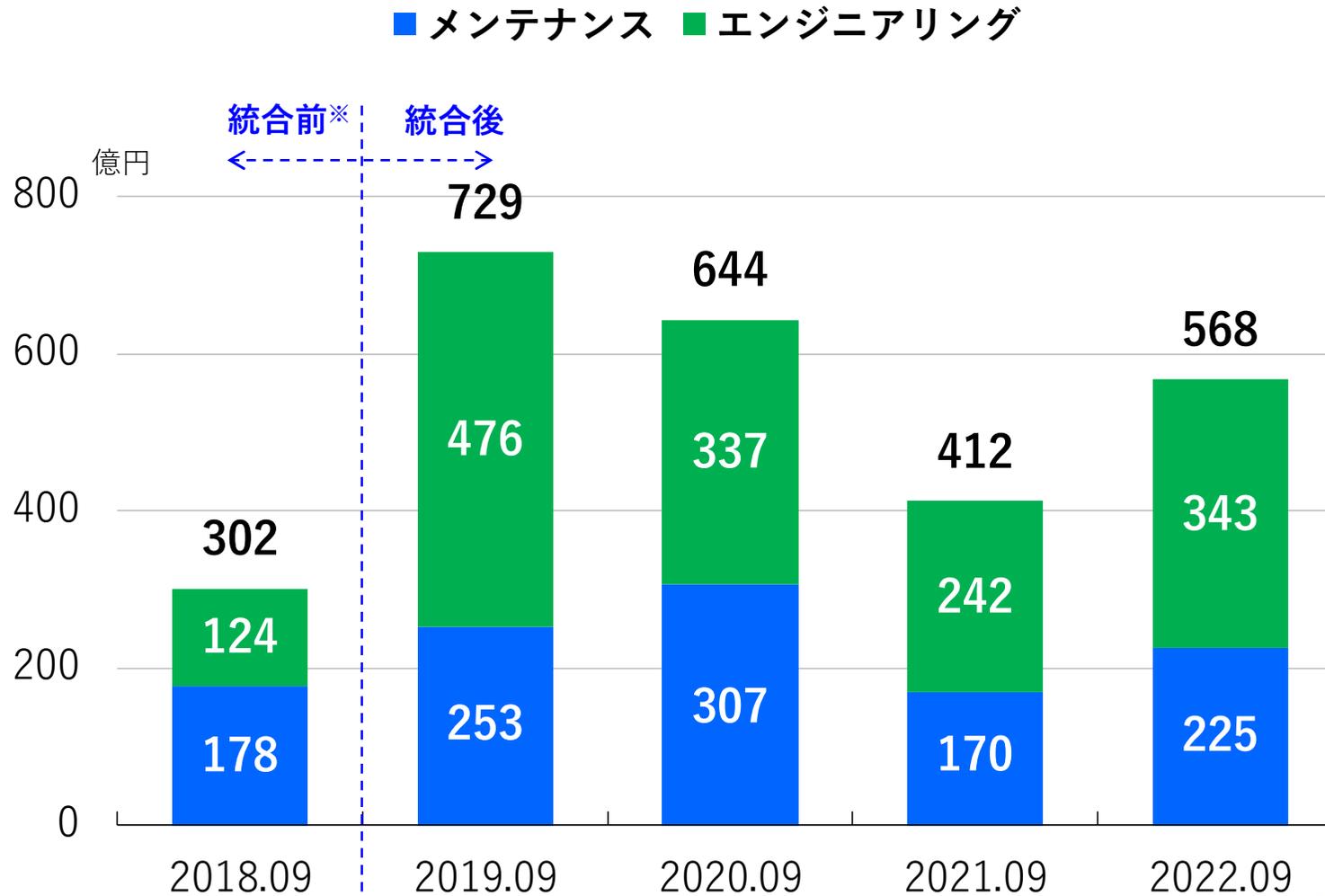


※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 上図のグラフの2019.09の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いた当期純利益となっております。

6) 受注残高

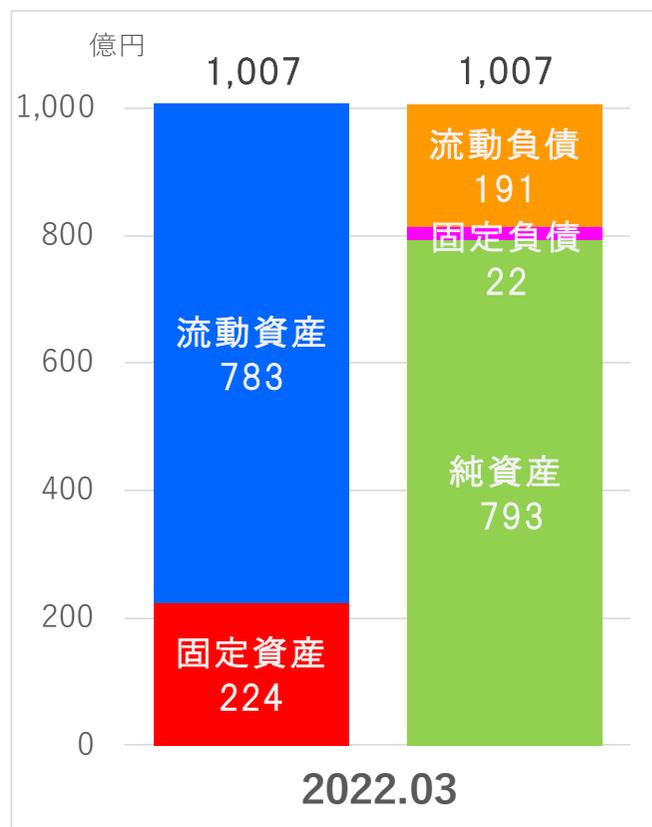
➤ メンテナンス、エンジニアリングともに前年同期比で増加



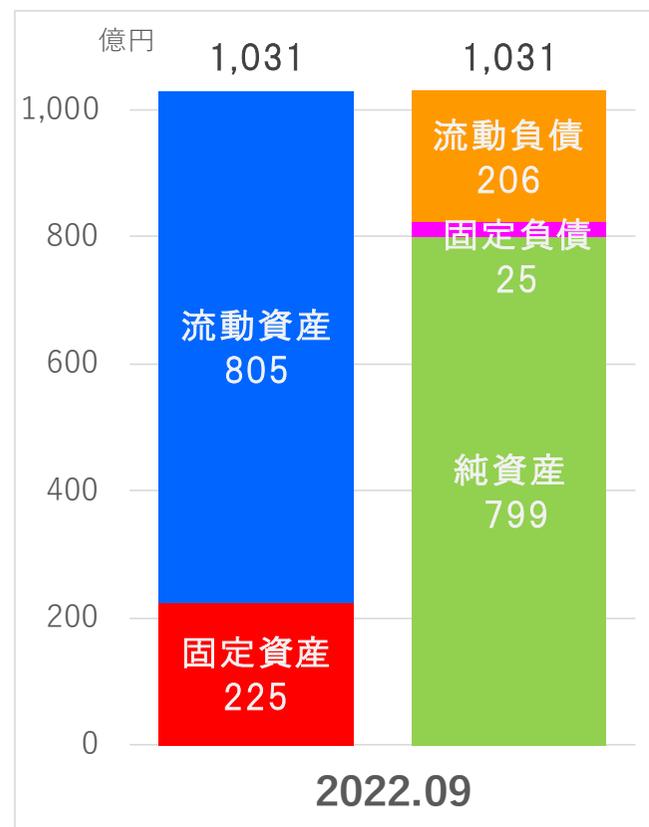
※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

7) 貸借対照表

- 資産の部・・・流動資産および固定資産に大きな変動なし
- 負債の部・・・流動負債および固定負債に大きな変動なし
- 純資産の部・・・大きな変動なし
- 自己資本比率は76.7%



自己資本比率：78.0%



自己資本比率：76.7%

3. 2023年3月期業績見通し

1) 業績見通し

➤ 受注高、完成工事高および各利益は期初予想より変更なし

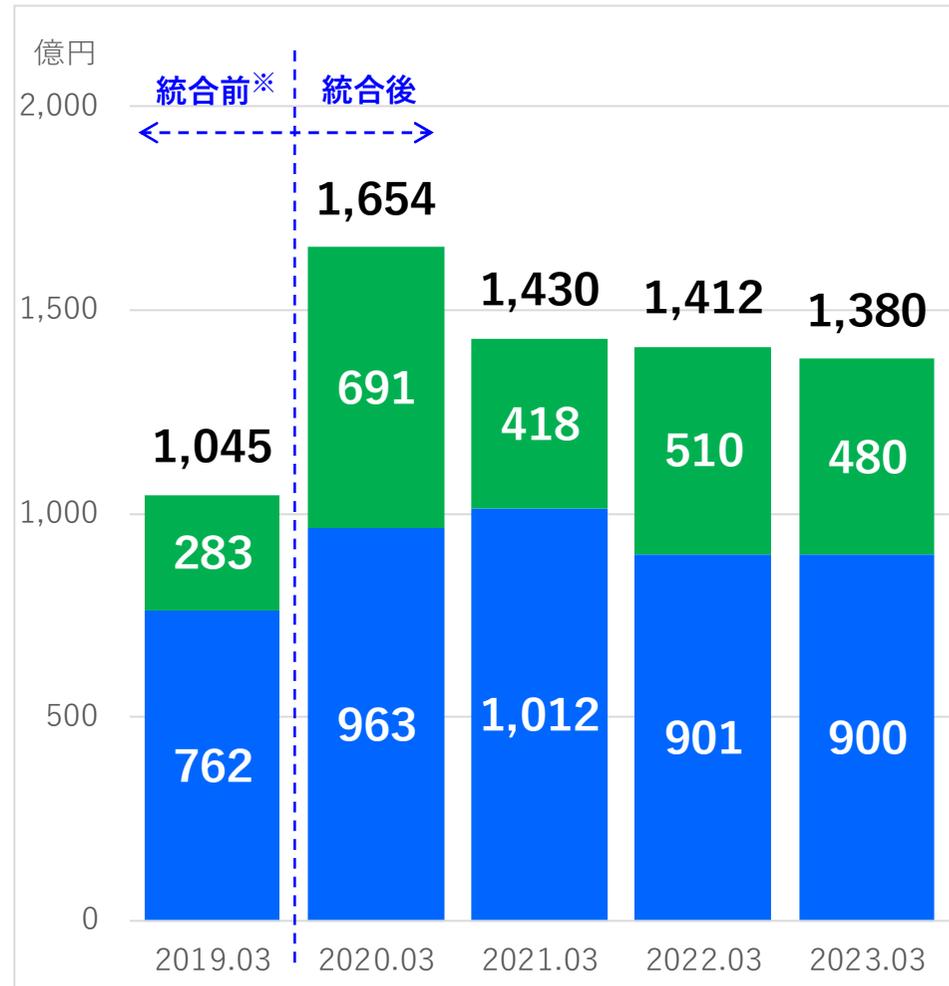
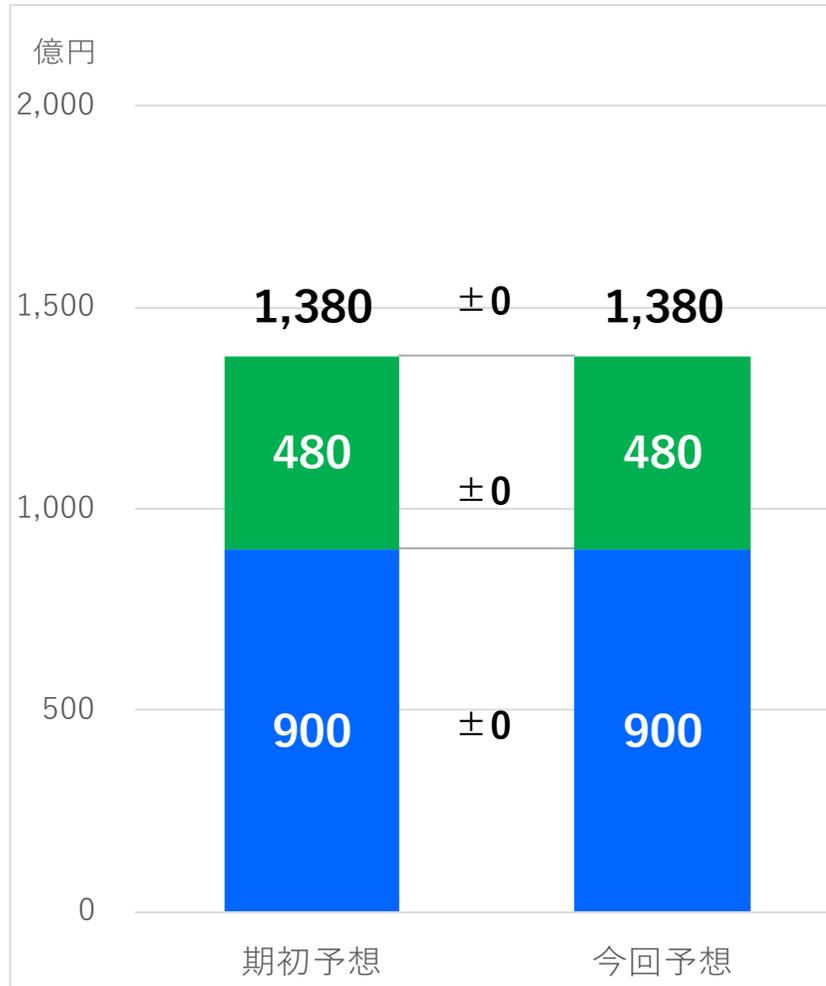
(単位：億円)

	期初予想	通		期	
		今回予想		増減	増減率
		第2四半期 実績	通期予想		
受注高	1,380	675	1,380	+0	+0.0%
完成工事高	1,360	687	1,360	+0	+0.0%
完成工事総利益	164.0	90.5	164.0	+0.0	+0.0%
(率)	12.1%	13.2%	12.1%	+0.0%	-
営業利益	94.0	54.9	94.0	+0.0	+0.0%
(率)	6.9%	8.0%	6.9%	+0.0%	-
経常利益	96.0	57.2	96.0	+0.0	+0.0%
(率)	7.1%	8.3%	7.1%	+0.0%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	63.0	39.6	63.0	+0.0	+0.0%
(率)	4.6%	5.8%	4.6%	+0.0%	-
1株当り当期純利益	116.31円	73.26円	116.31円	+0.00円	+0.0%
受注残高	562	568	562	+0	+0.0%

3) 受注高

➤ メンテナンス、エンジニアリングともに期初予想と変更なし

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



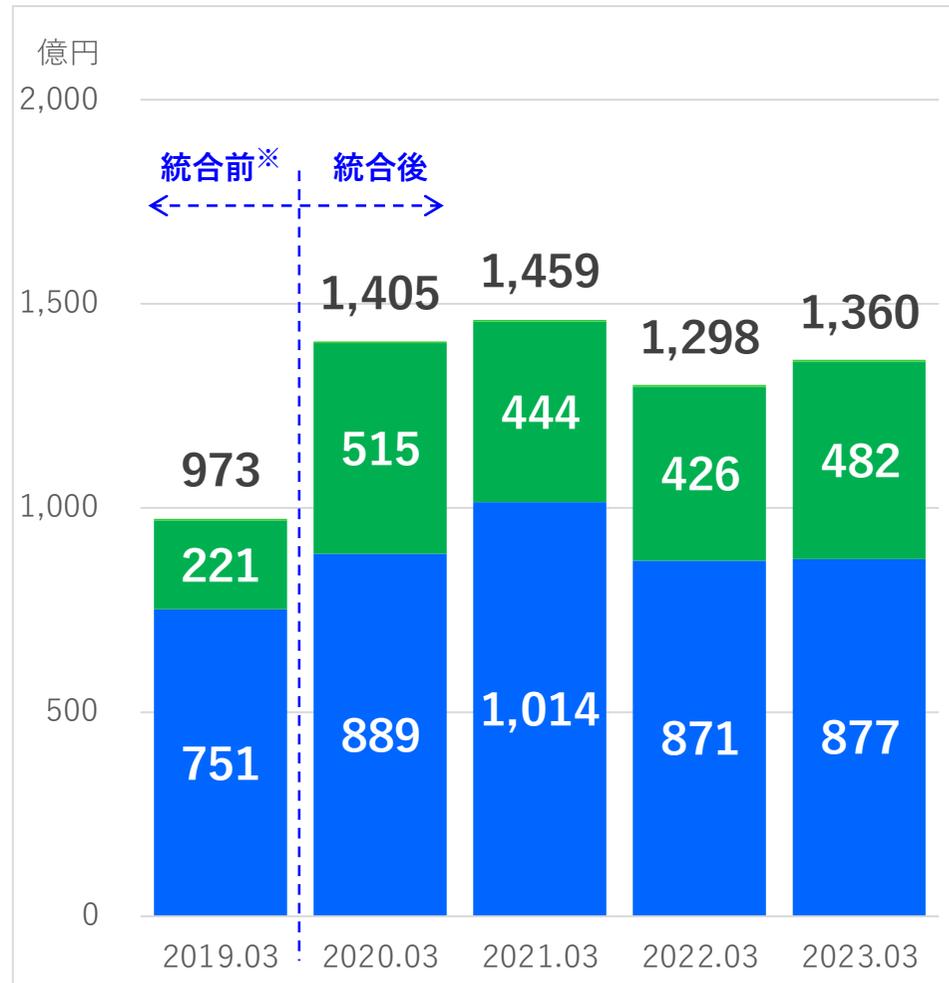
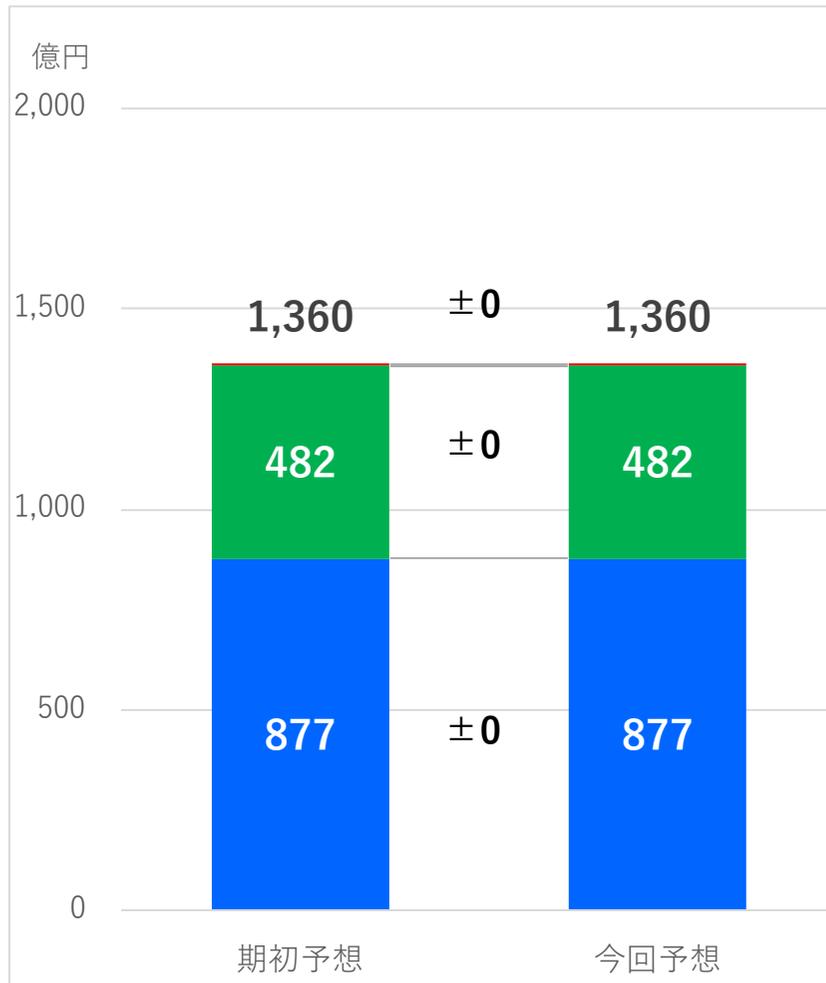
※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 2023.03の数値は予想値となっております。

4) 完成工事高

➤ メンテナンス、エンジニアリングともに期初予想と変更なし

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



※統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

注) 2023.03の数値は予想値となっております。

4. 配当

1) 2023年3月期配当予想

配当に関する基本認識および配当方針

当社グループの事業は、石油、石油化学、一般化学等のプラント関連のメンテナンス事業およびエンジニアリング事業を基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであると認識しております。

基本認識のもと、株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考え、配当の継続性および安定性という面にも充分留意し、40%以上の連結配当性向を目標といたします。

2023年3月期配当予想

● 期末配当 58円 （連結配当性向 49.9%）

※ 期末配当は、期初発表から変更なし。

この資料には、2022年11月17日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8

経営企画部 業績・IRグループ

TEL：045-415-1500／FAX：045-415-1120

E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp

URL：https://www.raiznext.co.jp



レイズネクスト株式会社